

PLAY THE G-GAMES WE ARE BLACKMARKERS

www.g-games.jp



2005
ADVANCED
MODEL



77W/mono
SHINING SILVER/DC RIM

77W/vaio
GLOSSY BLACK

77F/mono
SHINING SILVER/DC RIM

77F/vaio
GLOSSY BLACK

77S/mono
RMC(RAYS METAL COAT)

77S/vaio
RMC(RAYS METAL COAT)

PLAY THE G-GAMES WE ARE BLACKMARKERS
G-games

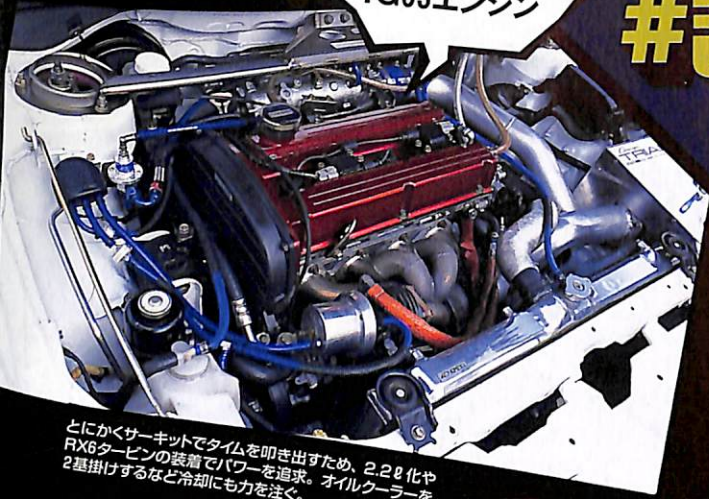
2.2L化された
4G63エンジン

#3

ENGINE TUNING

エンジンチューン

速くなきゃスポコンじゃないって向きに紹介したい、チューンドマシン4台を一挙にドン！ エンジンスワップやガルウイングなどハテ系メイクもあるぞ！



とにかくサーキットでタイムを叩き出すため、2.2L化やRX6タービンの装着でパワーを追求。オイルクーラーを2基掛けするなど冷却にも力を注ぐ。

パワーと空力の 絶妙バランスがキモ

第一印象はシブールなんだけど、なにやら物々しいカナードが目につくエボ8。これはガレージトリアル鳥取が、全国のサーキットで最速タイムを狙うために製作したマシンだ。エンジンは東名パワードの2.2リッターキットと、アベックスRX6タービンで武装し、ヘッドガasketやカムはHKS製に交換している。当然、ECUはHKS Vプロでコントロールし、驚異の600馬力を発揮する。

さらに、「タイムアタックに不可欠なクォーターとスタックも除る。超実戦派なパリス製エアロとデフューザーを装着し、Tサーキットやセントラルサーキットで、次々とエボ最速タイムを塗り替えている本格派なのだ。

コースレコードを次々 更新するスペシャルエボVIII



カーボントランク>ウイングで戦術的なルックスとなったリヤビュー。パリスのデフューザーもセット済み。



リヤはマルーンのFRP製リアパネルに変更している。タイムアタックに軽量化は欠かせない。

エアロ下のフラップとカナードを合体させるサイドパネル付きのオリジナル。これがサーキットで効くのだ。

ダウンフォースを稼ぐためパリスのエアロをセットした。大きくタイムが変わるほど効果があるのだそうだ。



ミツビシ ランサーエボリューション VIII

TECH DATA ●エクステリア:エアロ=パリス(F/S)/GTウイング=オリジナル/カナード=オリジナル ●ホイール=CE28N(17インチ)/車高調=クワンタムRS ●チューニング:東名パワード2.2リッターキット/タービン=アベックスRX6/ECU=HKS Vプロ/オイルクーラー=2基掛け/6点ローケージ/サイドバー/スポット増し

●問い合わせ:ガレージトリアル鳥取 ☎0859-56-1155

スポコンシーンではセリカやMRSに強いシヨップというイメージだけど、トリアルといえは関西屈指のトップチューナーである。そんなトリアルが手掛けたS15シルビアは、ストリートもサーキットも楽しめる欲張りマシンがコンセプトだ。もちろん、サーキットを視野に入れてのだけに、エンジンチューンにもかなり力が入っている。しかも、そのパワーを活かすためHKS6速シグナルシヤルまで投入しているというから驚き。ドラッグマシンならいざしらず、ストリートも走るクルマにこんな高価なMTを使うとは、恐るべし。

6速シグナルシヤルが 激速エンジンを活かす

どこでも走れる
マルチさが
自慢!

HKSの2.2Lキットを使い、アベックスのAXタービンで大福なパワーアップを果たしている。

ステージを選ばない オールラウンドシルビア



トライフォースエアロで武装し、ホイールもトライフォース・セルダマグナムの18インチでコーディネート。

長く伸びたシフトノブが6速シグナルシヤルの証し。驚くほど高価だがエンジンパワーを活かせるアイテムだ。



NISSAN SILVIA ニッサン シルビア[S15]

TECH DATA ●エクステリア:エアロ=トライフォースエアロ ボンネット:JUNオートメカニック ●足まわり:ホイール=トライフォース・セルダマグナム(18インチ) 車高調=クワンタム・トリアルバージョン ●チューニング:HKS2.2リッターキット タービン=アベックス53B70 HKS6速シグナルシヤル マフラー=トリアル・チタンバズーカ

●問い合わせ:トリアル ☎072-369-3539